

平成30年度 中区障害者自立支援協議会 合同三部会(計画相談・グループホーム・ヘルパー) 会議録	
日時	平成30年 11月22日(木)13:00~15:00
開催場所	中区役所 601 議室
出席者	43名
欠席者	
開催形態	公開(傍聴障害者・ <span style="border: 1px solid black;">非公開</span> )
議題	<p>① 各部会の活動報告・悩み・活動計画等について</p> <p>② 区役所、基幹よりお知らせ</p> <p>③ 皆様より本日の感想(告知等含め)</p>
議事	<p>1. 自己紹介</p> <p>・所属と氏名</p> <p>2. 各部会の活動報告・悩み・活動計画等について(各部長より)</p> <p>① ヘルパー部会</p> <p>&lt;これまでの計画と活動内容・課題&gt;</p> <p>今年、昨年と連続で部会長を務めている。</p> <p>活動内容などについては、研修会・勉強会を実施。昨年は、依存症を中心に行った。</p> <p>3年前くらいから、部会構成メンバー参加が減少しつつあり、各事業所の介護人材不足が影響。「部会はなんのためにあるのか？」地域の連携や当事者、各事業所との連携等のためではないか。</p> <p>また、高齢との併用などのサービスが難しくなってきたことが現状。高齢のサービス事業所にも障害へのサービス対応が行える事業所が増えてほしい。今年度の研修は、住宅改修について、1月に行く。その他の活動としては、ヘルパー利用時のパンフレットを作成した。しかし、利用者側からの観点からの物ではなかったこともあり、今は活用していない状態。パンフレット作成により、様々な課題が見えてきた事でとてもいいことだった。今後は、部会の中でしかできないことを考えて行きたい。</p> <p><span style="border: 1px solid black;">質疑応答</span></p> <p>部会の悩み事は何なのか？</p> <p>→特に部会での悩み事はない。介護者が不足等の課題。利用者とのやり取り等がある。</p> <p>事業所の体制の問題</p> <p>→土日の配置できるヘルパーが少ない。ヘルパーにも個々の事情がある。</p> <p>高齢ではヘルパーの依頼があった際は断ることは、あまりないが障害は断ってしまうのか？</p> <p>→事業所としては、地域の問題などで、寿などは事務所から近いと言うこともあり、フットワークよく動いている方だと思う。区外や寿地区などバランスよく行えている。</p> <p>介護者の高齢化。外国人の雇用など(熱心で優しい、永住している方が多い)。</p>

外国人ヘルパーは、寿地区では歓迎されるが、日本人家庭にはあまり向かない。

他の事業所では、どんな感じか？

→15年近く事業所を行っているが、介護者が不足している。マンパワー不足。(特に重度訪問など)

昔は、介護者志願者が、女性の方が多かった。最近では、男性が多い。ヘルパー依頼の件については、人材がいないこともあり、お断りするか、他事業所を紹介している。外国人も多く、特にブラジルや中国人が多い。とても熱心。言葉の問題などの課題ある。

## ② グループホーム部会

<今年度の計画と活動実施内容>

- ・年間計画などは、構成メンバーから課題を出して頂き検討している。
- ・計画相談について来年以降から全利用者(サービス利用者)に付ける必要があること等について、部会内で共有。
- ・訓盲学院のグループホーム見学を行った(弱視の方がTVゲームをしている生活にとっても驚かされた)
- ・虐待についての研修(とてもわかりやすく、バリエーションが様々あった)
- ・2月は、栄養士(区役所)を招き、利用者の高齢化や誤嚥の問題、工夫の問題などについて
- ・グループホームにも、定着と移行型と2種類ある。高齢化と認知症等の対処について課題がある。

今回の様な合同部会は、とても有り難い。中々、区役所などにも問い合わせできない事などがある時に、顔の見える関係がある事がとても有り難い。

<グループホームでの課題>

- ・高齢化、食事提供、金銭管理(区役所がやらない部分)、虐待等。お金はとてもデリケートなので、扱いの難しさを抱えている。
- ・高齢化になってきた時に、ホームとしての対応。入所なのか入院なのか、タイミングが課題。(難しい)

### 質疑応答

・グループホームの空き情報について

→区役所が直接運営している、法人に問い合わせして頂いた方がいい。

## ③ 計画相談部会

<活動内容・課題>

- ・報酬が低い(少ない)点数を上げるには、件数を増やすしかない。それにより、利用者とのやり取りがうすくなる。

- ・来年度は、利用者(サービス)全員に付けていく方針。中区は、4～5割。横浜市は、3割。啓発活動を行い、事業所の空き情報なども行っているが、新規が受けられない事業所が多い事が現状。
- ・課題としては、部会の内容として、事例検討が出来ていない。仕事のしづらさ、グループホームやヘルパーの人材不足等。
- ・相談の仕事の中で、内容の差(報酬)加算がつけづらいなどがある。
- ・部会は、各事業所から1名は、必ず参加(必須)になっている。
- ・計画相談がついていない人に対して、全員がつくことが、とてもいいことではあるが、なかなか難しい事が現状の課題。児童などには、親が作成するような説明もあったようだが、まだ、不明な点が多く、今後発表がある。

#### 質疑応答

- ・児童に関しての計画相談について
  - 市からなのか、親に対してセルフプランの説明があった。
- ・他市の事について
  - 他市などは、事業所が本当に少ないこともあり、セルフプランを押ししている傾向がある。
  - ・高齢も障害も計画相談がつくことがいいと思う。他機関との連携がスムーズにいく。本人にとってもいいこと。
  - ・相談のみで事業所を立ち上げている事業所がどれだけの負担を抱えているかわかってほしい(報酬も含む)
  - ・どうして、計画が必要なのか、なくてもいいのでは。
    - 制度としてある以上はやらなくてはならない。また、本人にとっても大切。
  - ・計画のソフトを導入することで、少しでも件数を上げられるように工夫も必要。
    - 初期投資にかなりのお金が掛かる。だいたい60万程。特に行政からの補助はない。
- ・特定事業所加算について
  - 常勤2名、24時間連絡対応可能(携帯など) 中々できる事業所は少ない。
  - ・グループホームの職員として関わってきた中で、計画がついている方とない方では違いが大きい。個別支援会議が持てるか持てないかなどとても重要になっている。会議をふつうに頼めるようにしたい。グループホーム職員や施設職員(通所)以外の第三者の意見はとても大きい。

#### 3 .区役所、基幹よりお知らせ

中野氏より:計画相談部会からの研修について

(研修会 1月「親なきあと」)

講師に、渡部 伸氏。場所は、横浜開港記念会館にて、参加申し込みは必要なし。実際学校関係からの問い合わせが多く、学校が配布に協力。

(児童の計画相談について)

「横浜子どもサポートプラン」に変わる。市からの説明が必要不可欠。

工藤氏より:自立支援協議会 事務局から

研修会について 8050 問題について取り上げる。是非参加してほしい。

(来年の1月に行う、合同担当者会議について)

今までは各部会長や地域の支援者が参加し、行っていたが、次回は部会構成員で行いたい。次年度(31年)に向けての計画(年間)などについて、今年度の各部会で話し合っ  
て欲しい。予算の関係がある為

#### 4. 本日の感想

- ・他の部会との顔合わせが出来たことが、とても良かった。
- ・計画相談を行っている、関わる事業所も多くなるので、合同はとても良かった。
- ・他の部会がどんな事をやっているのか知る機会が出来てよかった。
- ・中区は、支援者も深くて熱い思いを感じる事が出来てよかった。
- ・グループホームの役割について、課題がある。グループホームだけでなく支え合いが必要と感じた。
- ・横の繋がりがとても大切と感じた。
- ・部会での話し合いについての内容が市に上がればいいが、部会任せになっている体制が良くないのではと感じている。
- ・今回の合同は、みんなが入りやすいテーマでよかった。
- ・また、来年出来たらいいと思った。
- ・社会の中から、志のある人を、人材を育てていかなくてならないと感じた。
- ・計画相談を入れる事で、当事者自身も気が付かない事やその人に必要な事の目が行き届く事を感じた。

#### 5. 名刺交換、交流会